

流通経済大学論集総目次 1—150号 (1966—2006年)

まえがき

流通経済大学は創設以来すでに40年が経過した。大学として必ずしも古いとはいえないが、新参者というわけでもなくなった。1965年度に経済学科単科で始まった経済学部は1970年度に経営学科を増設した。1988年度に社会学部、1996年度に流通情報学部、2001年度に法学部がそれぞれ新に開設され、2006年度からはさらにスポーツ健康科学部が加わる。また、新学部を除いてそれぞれの学部に大学院も整備された。いまや5学部の中規模大学となった。

経済学部は創設直後の1966年から学術研究紀要『流通経済大学論集』を発行してきたが、前号をもって記念すべき150号を迎えた。一口に150号というが、40年間で150号の研究紀要を発表し続けるのは決して容易なことではない。本誌は、創立当初の66年および67年の2年間こそ年間2号あるいは3号の発行であったが、68年からは年間4号発行する体制を整え、以後、80年代の後半期に20周年記念号発行等のため合併号を数回出したものの、それ以外はこの体制が正確に守られてきた。本学部の規模を考えると驚くべきことであろう。ひとえに本学部教員の研究に対する熱意のたまものであり、これを裏方として支えてきた本誌編集委員の努力によるものである。

もとより本誌はこれで終わりではない。これからさらに200号、300号に向かって一層の充実を図っていかねばならない。今号、つまり151号はまさにその第1歩である。いま、大学の教員はいかによい教育を学生に提供するかに多くの時間と精力を割かれている。それ自体必要なことであることはいままでもないが、それによって本来の研究がおろそかになれば、回り回って教育の質を落とすことになってしまう。教員はよい教育をおこなうためにも本来の研究を続けなければならない。そしてその研究成果の本誌への発表が本誌の充実を実現する唯一の道である。本誌のさらなる充実のために本学部教員の地道な研究活動が期待されているのである。

2006年1月23日

経済学部長 田 多 英 範